

令和2年度

大郷地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和2年8月1日（土） 18：00～19：30

◆開催場所：大郷地域生活センター 2F 集会室



<質疑概要>

白根北中学校通学路（大郷・鷲巻側）の歩道の取付位置変更について

発言： 要望としては、三叉路になる交差点に横断歩道を設けて歩道を右側に移して、交差点で横断をする形で通学路を確保していただきたい。学校の前にも押しボタン式の信号機があり、現在ある左側の歩道はどうなるのか、今後右側（北側）に移動できるのか。

回答： カーブの途中で歩道を渡らせるということが安全なのかということを再検討していく必要があると思っています。左側（南側）を通過して押しボタン式の信号機を渡っていただく方が大郷の子ども達にとっては自然な流れで学校に行けるのではないかという思いもあります。

この工事は、着手までに十分時間がありますので、子ども達の安全を第一に考えてご相談させていただきたいと思います。

発言： 子ども達の安全や車の流れを考えると、信号機の数減らした方がいいということから、学校の前で横断せずに、右側（北側）に通学路があって、新たに造る三叉路交差点の信号機を横断してもらった方がいいという意見があった。子ども達の安全対策をしっかりと検討していただき、後々あの時設計変更しておけばよかったとにならないようにお願いします。

回答： 信号がない方がスムーズな交通になりますし、子ども達も朝夕の交通量が多い時間帯に通学します。後戻りがないように、今後時間をかけて話し合いをさせていただきたいと思います。

大郷橋架け替えの推進への取り組みについて

発言： 大郷橋は、昼間の12時間で7千台以上の車が通っており、地元の農家は対岸の農地を往復し、学校の生徒も通学に使っている。大郷橋架け替え促進協議会も組織して取り組んでいるので、ぜひ架け替えの実現に向けて事業化を進めていただきたい。

回答： 大郷橋架け替えの重要性は区としても認識していますので、整備に向けた機運を盛り上げ、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

当面の安全面については、秋葉区と連携をとりながら実施していきます。

なお、今年予定していた交通量調査は、新型コロナウイルス感染症の影響で正確な調査ができないため、来年に延期になりました。

発言： 大郷橋は、単に通過する橋の一つではないということ、ぜひ理解していただきたい。大郷の人は、橋を渡って対岸の秋葉区の田んぼや梨畑などに行ったり来たりすることが多い。橋を渡れず防除したいのに行けないから梨畑はもうやめようかという気持ちになる。また、通学や通勤で橋を渡ってバスに乗りたいが怖いからやめようかということになる。生活、仕事、通学になくはない橋だということ認識して考えていただきたい。

回答： 今の話を聞いて、改めて地域の重要な橋であるということ認識させていただきましたので、

皆さんと一緒に架け替えに向けて頑張っていきたいと思います。

行政と地域の連携について

発言： 自治会長として区役所に出向く機会が多くなり感じたことがあった。

公園を自治会が管理して区から管理費をいただいている。そのなかで、毎年2、3回の除草作業をやっているが、草の生え方が早く春先間に合わないのが、フェンス周りに除草剤を撒いて草が生えるのを遅らせてはどうかと相談に行ったところ、除草剤は駄目だという回答であった。他県では、除草剤を撒いたので一週間は利用できませんと注意喚起をして、除草剤を利用しながら管理をしていくという事例もあるようだ。

空き家の問題についても、区はここまで調査したが連絡が取れない、財産なので手はつけられないので、あとは法律相談など専門家に相談してくださいと言われるが、区も協力するので一緒に考えましょうといったスタンスで相談に応じていただくと、より親身に感じるのではないかと。

回答： 事務的に回答してしまった部分があったとすれば、申し訳なかったと思います。いろいろな地域の課題に、地域の皆さんとともに一緒にやっていくというスタンスで取り組んでいくのは大切なことだと思っています。

公園の管理の件については、持ち帰って何かいい方法があるかご相談させていただきたいと思っています。